



# 算額絵馬を作る！！

毎年、中学3年生の授業では算額絵馬に取り組みます。作成した絵馬は滋賀県の三井寺に奉納・展示されるのですが最優秀賞、優秀賞に選ばれた絵馬は、永久奉納となります。

算額対決！！  
奉納後、立命館守山の生徒が作った問題を解きます。



江戸時代にも建っていた由緒ある建物、三井寺金堂でまずは優秀作品を奉納しました。

2015年度の最優秀賞は4組の生徒が選ばれました☆



# 絵馬に数学 答えは裏に

三井寺で「算額」奉納

同志社中・立命館守山中生が出題



生徒が独自に考えた問題を書き、奉納した算額絵馬。裏をめくると答えが書いてある(大津市園城寺町・三井寺)

日本独自の数学「和算」を授業に取り入れている同志社中(京都市左京区)と立命館守山中(守山市)の生徒らが13日、大津市園城寺町の三井寺に、数学の問題を書いた「算額絵馬」を奉納した。優秀な問題を書いた10枚は観音堂に永年奉納され、残り約280枚は1年間、金堂や釈迦堂で展示される。三井寺には江戸時代

に奉納された算額があることから、両校は2013年、同寺で算額問題を出し合う「算額対決」を実施。今年は両校の3年生が卒業記念として算額を奉納した。  
絵馬には両校の校章の面積を聞く問題のほか、「アンパンマンの顔(半径11センチ)から、鼻(直径8センチ)とほっぺをのぞいた顔の面積は」など、生徒らが独自に考えた問題が一枚一枚、丁寧に書かれている。絵馬の裏には答えも書いてあり、参拝者らは興味深そうに眺めていた。  
(小川卓宏)